県立高校改革実施計画（Ⅱ期）

県央・相模原地域
普通科・専門学科併置校
（厚木東高校・厚木商業高校）
設置計画

令和５年３月

神奈川県教育委員会

１　対象校・位置・実施年度

（１）対象校　　厚木東高等学校　厚木商業高等学校
（２）位置　　厚木東高等学校敷地（厚木市王子１－１－１）
（３）実施年度　　令和６年度

２　設置の目的

○　これまで両校が取り組んできた教育活動の成果を踏まえ、普通科と総合ビジネス科の併置による教育を展開し、地域における新たな高校として、これからの社会に貢献する人材を育成する。

○　普通科と総合ビジネス科の併置の特色をいかした多様な科目配置等により、実社会を生き抜く力を育むための幅広い学びの実現を図る。

○　商業教育の一環として取り組んできた、資格取得などの実践的教育の取組みに、普通科生徒も参加することなどで、学科併置の強みをいかし、学校全体の教育力の向上を図る。

３　基本的コンセプト

○　学年制による全日制普通科と総合ビジネス科を併置する県立高校としての教育の展開

○　普通科としての学習の取組みと教育の展開
　共通教科・科目を中心とした教育課程を編成するとともに、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現のため、基本的な知識・技能の習得と、主体的・対話的な学びにより、課題を発見し解決するための思考力・判断力・表現力等の育成を図る。また、探究活動等を通して、持続可能な社会の創り手となる人材の育成をめざした教育を展開する。

○　総合ビジネス科としての学習の取組みと教育の展開
　総合ビジネス科の特性をいかした教育課程を編成し、ビジネスの各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術の習得及び経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。また、専門分野を深化する系・コースを設定することで、グローバル社会で活躍し、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成に向けた専門教育を展開する。

○　学科併置の特色をいかした教育活動の展開
　普通科と総合ビジネス科が取り組んできたこれまでの教育内容を充実・発展させるとともに、学科併置の強みをいかし、いずれの学科の科目も履修できるよう教育課程を編成し、生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた幅広い教育活動を展開する。

○　地域と連携・協働した教育活動の推進

　これまで両校が取り組んできた地域との連携・協働を継承・発展させるとともに、地域の教育力を活用した教育活動を推進することで、将来、地域社会に貢献する人材を育成する。

○　これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けた教育の展開

　社会の変化や産業界の動向を踏まえ、これからの時代に求められる資質・能力を育成するために、教科等横断的な視点で教育課程を編成し、実践的・体験的な学習活動を展開する。

４　設置形態

（１）課　　程　全日制の課程
（２）学　　科　普通科
　　総合ビジネス科（商業に関する学科）
（３）学校規模　１，０８０名程度（各学年９学級規模程度）
　　普通科　　６００名程度(各学年２００名程度５学級規模程度)
　　総合ビジネス科　４８０名程度(各学年１６０名程度４学級規模程度)
　　※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
（４）修業年限　３年
（５）学　　期　３学期制
（６）履修形態　学科ごとの科目を中心とした必履修科目及び選択科目による履修
（７）授業展開　５０分６限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定

〈日課表〉（予定）

	６校時時程（週５日）
朝読書・朝学習	８：40　～　８：50
ショートホームルーム	８：50　～　８：55
１　校　時	９：00　～　９：50
２　校　時	10：00　～　10：50
３　校　時	11：00　～　11：50
４　校　時	12：00　～　12：50
昼　休　み	12：50　～　13：35
５　校　時	13：35　～　14：25
６　校　時	14：35　～　15：25
ショートホームルーム	15：25　～　15：30

５　入学者選抜

（１）募集の区分　一般募集（中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者）
（２）選抜の区分　共通選抜
（３）選考の方法　事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

６　教育課程

（１）基本的方針

○　高等学校在籍３年以上で、高等学校学習指導要領に基づき、必履修科目を履修し、学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。

○　総合ビジネス科においては、専門教育に関する教科・科目の履修については、２５単位を下らないこととする。

（２）教育展開の方針

○　普通科と総合ビジネス科の併置の特色をいかした学習の充実及び、いずれの学科の科目も履修できる教育を展開するとともに、地域の教育力を活用した県立高校生学習活動コンソーシアム等と連携した教育を展開する。

○　各学科において、基礎的な科目から応用・発展的な科目までを設置し、系統的な教育の展開を図る。生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じて、科目を選択して学ぶことが可能となるよう配慮する。

○　普通科において、共通教科・科目を中心に設置し、学習の基盤となる言語能力や問題発見・解決能力の育成を図るとともに、一般的な教養を高め、豊かな感性を育む。また、進路希望の実現に向けた科目構成を基本としてキャリア教育実践プログラムを踏まえた主体的・対話的な学びをとおして、将来のキャリアを見据えた進路目標を実現できるよう展開する。

○　総合ビジネス科において、共通教科の科目及び専門科目により系統的な専門教育の展開を図るとともに、生徒の希望に応じて専門的な内容が深められるよう、マーケティング、マネジメント、会計、ビジネス情報の４分野における、系・コースを設置する。また、実践的・体験的な学習活動や大学等との連携をとおして、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人の育成に向けた専門教育を展開する。

（３）編成の方針

○　共通履修科目及び商業に関する学科の専門科目、必修選択科目、自由選択科目で構成する。

○　生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じて設定した課題について、普通科においては総合的な探究の時間で、総合ビジネス科においては課題研究での発表・討論等をとおして知識や技能の深化・統合化を図る。

○　県立高校生学習活動コンソーシアムなどを活用し、学校外での学修成果による単位認定を行う。

（4）教育課程表

○　普通科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
1学年		現代の国語②		言語文化②		地理総合②		公共②		数学Ⅰ③			数学A②		化学基礎②		生物基礎②		体育②		保健①	音楽Ⅰ②	美術Ⅰ②	コミュニケーションⅠ④					情報Ⅰ②		総合的な探究の時間（朝の読書を含む）②		LHR①
2学年	文系	論理国語②		文学国語②		古典探究②		歴史総合④				数学Ⅱ③			地学基礎②		体育②		保健①	コミュニケーションⅡ④	英語			論理表現Ⅰ・②		家庭基礎②			文系選択②		総合的な探究の時間（朝の読書を含む）②		LHR①
	理系	文学国語③			歴史総合②		数学Ⅱ④			数学B②			物理基礎④				生物基礎②化学基礎②		体育②		保健①	コミュニケーションⅡ④	英語			論理表現Ⅰ・②		家庭基礎②			総合的な探究の時間（朝の読書を含む）②		LHR①
3学年	文系	論理国語②		文学国語②		古典探究③			日本史探究④世界史探究④地理探究④				政治・経済②			体育③			コミュニケーションⅢ④	英語		論理表現Ⅱ・②		文系選択α②		文系選択β②		自由選択②		総合的な探究の時間（朝の読書を含む）②		LHR①
	看護医療栄養系	論理国語②		文学国語②		政治・経済②		数学Ⅰ②		数学A②			生物化学⑤⑤				体育③			コミュニケーションⅢ④	英語			論理表現Ⅱ・②		看護医療栄養系選択②			自由選択②		総合的な探究の時間（朝の読書を含む）②		LHR①
	理系	論理国語②		政治・経済②・数学Ⅲ⑥		数学Ⅱ④				数学C②			生物化学物理⑤⑤⑤				体育③			コミュニケーションⅢ④	英語			論理表現Ⅱ・②		理系選択②			自由選択②		総合的な探究の時間（朝の読書を含む）②		LHR①

教育課程表は予定であり、変更することがある。（○囲いの数字は単位数）
アンダーラインは学校設定科目を示す。

◇２学年必修文系選択（２単位）

数学Ｂ②、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、英語コミュニケーションⅠ②、［商］簿記②

◇３学年必修選択（２単位）

文系選択α

日本史探究②、世界史探究②、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②

英語コミュニケーションⅡ②、［商］ビジネス・コミュニケーション②

［商］簿記②、［商］財務会計Ⅰ②

文系選択β

音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、英語コミュニケーションⅡ②、［商］マーケティング②、

［商］ビジネス法規②、［商］プログラミング②、［商］ネットワーク活用②

［専家］保育基礎②

看護医療栄養系選択
英語コミュニケーションⅡ②、［商］マーケティング②、［商］ビジネス法規②、
［商］プログラミング②、［商］ネットワーク活用②、［専家］保育基礎②

理系選択
英語コミュニケーションⅡ②、［商］マーケティング②、［商］ビジネス法規②、
［商］プログラミング②、［商］ネットワーク活用②、［専家］保育基礎②

※文系選択αと文系選択βで同じ科目は選択できない。

◇３学年自由選択（２単位）
文系
国語表現②、数学Ｃ②、幼児教育音楽（芸）②、現代美術研究（芸）②
［専家］フードデザイン②

看護医療栄養系
国語表現②、古典探究②、数学Ｃ②、幼児教育音楽（芸）②
現代美術研究（芸）②、［専家］フードデザイン②

理系
国語表現②、古典探究②、数学Ｃ②、幼児教育音楽（芸）②
現代美術研究（芸）②、［専家］フードデザイン②

○　総合ビジネス科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1学年		現代の国語②		言語文化②		公共②		数学Ⅰ③			体育②		保健①	美術Ⅰ②	音楽Ⅰ②	英語コミュニケーションⅠ④				簿記④					情報処理④				ビジネス基礎③			LHR①
2学年	会計系	文学国語②		歴史総合②		数学Ⅱ②		生物基礎②		化学基礎②		体育②	保健①		英語コミュニケーションⅡ③			家庭総合②		課題研究①	財務会計Ⅰ④				原価計算③			マーケティング③ソフトウェア活用③			LHR①
	情報系	文学国語②		歴史総合②		数学Ⅱ②		生物基礎②		化学基礎②		体育②	保健①		英語コミュニケーションⅡ③			家庭総合②		課題研究①	ソフトウェア活用④				プログラミング③			マーケティング③財務会計Ⅰ③			LHR①
	流通系	文学国語②		歴史総合②		数学Ⅱ②		生物基礎②		化学基礎②		体育②	保健①		英語コミュニケーションⅡ③			家庭総合②		課題研究①	商品開発と流通②		グローバル経済②		マーケティング③			財務会計Ⅰ③ソフトウェア活用③			LHR①
3学年	会計コース	論理国語③		地理総合②		数学Ⅱ②		地学基礎②			体育③			英語コミュニケーションⅡ③			家庭総合②		課題研究②	財務会計Ⅱ③				管理会計③			必修選択②	自由選択②			LHR①
	ビジネス情報コース	論理国語③		地理総合②		数学Ⅱ②		地学基礎②			体育③			英語コミュニケーションⅡ③			家庭総合②		課題研究②	プログラミング③				ネットワーク管理③							LHR①
	マーケティングコース	論理国語③		地理総合②		数学Ⅱ②		地学基礎②			体育③			英語コミュニケーションⅡ③			家庭総合②		課題研究②	商品開発と流通③				観光ビジネス③							LHR①
	マネジメントコース	論理国語③		地理総合②		数学Ⅱ②		地学基礎②			体育③			英語コミュニケーションⅡ③			家庭総合②		課題研究②	商品開発と流通③				ビジネス・マネジメント③							LHR①

教育課程表は予定であり、変更することがある。（〇囲いの数字は単位数）
アンダーラインは学校設定科目を示す。

◇３学年必修選択（２単位）
数学Ａ②、［商］総合実践②、［商］ビジネス法規②、［商］ネットワーク活用②

◇３学年自由選択（２単位）
国語表現②、倫理②、数学Ａ②、数学Ｂ②、化学基礎②、生物基礎②、
論理・表現Ⅰ②、幼児教育音楽（芸）②、現代美術研究（芸）②、
［商］ビジネス・コミュニケーション②、［商］原価計算②
［専家］フードデザイン②

普通科と総合ビジネス科の併置の特色をいかした選択科目について

普通科・総合ビジネス科の併置の特色をいかし、普通科における実践的教育の充実を図るとともに、総合ビジネス科における生徒一人ひとりの興味・関心や多様な進路希望に応じた共通教科・科目の選択を可能とする教育課程を編成するため、以下のような科目を設置する。

＜主な科目＞

マーケティング　２単位

現代市場とマーケティング、市場調査、製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策などを学び、マーケティングに必要な資質・能力を育成する。

ビジネス法規　２単位

法の概要、企業活動と法規、知的財産と法規、税と法規、企業責任と法規などを学び、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成する。

簿　記　２単位

簿記の原理、取引の記帳、決算、本支店会計、記帳の効率化などを学び、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を育成する。

財務会計Ⅰ　２単位

財務会計の概要、会計処理、財務諸表の作成、財務諸表分析の基礎などを学び、会計情報の提供と活用に必要な資質・能力を育成する。

プログラミング　２単位

情報システムとプログラミング、ハードウェアとソフトウェア、アルゴリズム、プログラムと情報システムの開発などを学び、企業活動に有用なプログラムと情報システムの開発に必要な資質・能力を育成する。

ネットワーク活用　２単位

情報技術の進歩とビジネス、インターネットと情報セキュリティ、情報コンテンツの制作、インターネットの活用などを学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を育成する。

（５）学習指導の工夫

○　知識の質や量の改善とともに、学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的･対話的な学びや、そのための指導方法等の充実を図る。

○　ＩＣＴを活用した学習活動により、生徒一人ひとりの理解を深めるための個別最適な学びや協働的な学びを充実させるとともに、生徒の自ら学ぶ力を高めるよう工夫する。

○　自らの進路希望や学習目的に基づいて、基本的な内容から発展的な内容まで主体的に学習を進め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。

○　実験･実習などの体験的な学習活動を充実させ、実践力を育成するとともに、生徒の自発的・創造的な学習態度の育成を図る。

（６）生徒指導等の工夫

○　特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動により、さまざまな個性を尊重し、より良い人間関係の構築と自立をめざす指導を行う。

○　生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を学校全体で行う体制を整える。

○　生徒と教師との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育てるとともに生徒の理解を深める。

○　生徒が自ら考え、決定し、行動する自立の力を育めるよう、支援体制を整える。

（７）進路指導の工夫

○　生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的･組織的な進路指導を行う。

○　教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や、就労や進学に対応したガイダンス機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

（８）学校経営

○　学校教育計画に基づき、学校評価システムや学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）をいかして、自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7　施設・設備の整備

○　両校の統合による普通教育及び専門教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8　その他

○　普通科及び総合ビジネス科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。

神奈川県
教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通１　〒231-8588 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256